

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 109

March 2023

大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35

TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

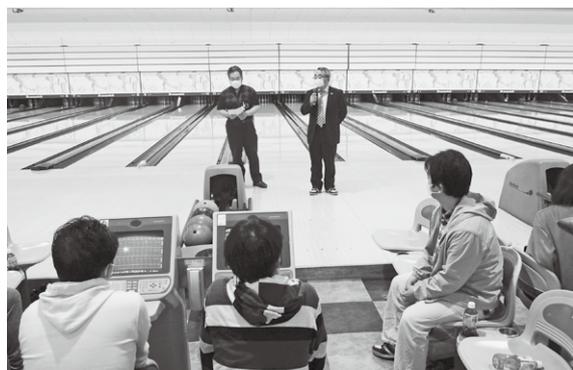
おおいたの生協



第27回大分県生協大会



第27回大分県生協大会講師



ボウリング大会挨拶



ボウリング第1投球



県行政との懇談会（1）



県行政との懇談会（2）

CONTENTS

第27回大分県 生協大会（役員研修会）を開催…………… 2

県生協連主催

第33回スポーツ交流会（ボウリング大会）を開催…………… 4

県生協連と県行政との懇談会…………… 5

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた…………… 7

日田市民生活協同組合…………… 8

グリーンコープ生活協同組合おおいた…………… 9

大分県学校生活協同組合…………… 10

大分大学生生活協同組合…………… 11

大分県職員消費生活協同組合…………… 12

大分県労働者総合生活協同組合…………… 13

大分県勤労者医療生活協同組合…………… 14

大分県医療生活協同組合…………… 15

第27回大分県 生協大会（役職員研修会）を開催

① 生協運動の発展と会員相互の交流を深め、役職員の研修会を兼ねて第27回大分県生協大会を2022年2月25日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により大分県の蔓延防止措置が発令されたため中止しました。

2022年度になり新型コロナウイルス感染症が減少したことを受け、第27回大分県生協大会（役職員研修会）を2022年11月16日(水)に大分市中央町「ソレイユ」で開催し、12会員生協より73名（理事・監事含む）が参加しました。

② はじめに、主催者を代表して青木博範会長理事より「会員生協の皆様には日頃から県生協連活動への協力に感謝申し上げます。東日本大震災から11年が経過したものの、復興は道半ばであり、特に、原発の処理水について現地の承諾なしに海洋放出すると決定したことは大問題であり、昨年はこの問題についてオンラインで学習したが、今日は、コープふくしまの穴戸本部長をお招きし、対面で説明を受け学習する機会にしたい」とあいさつがあり、来賓はコロナ感染等を考慮し割愛し講演に入りました。

講演「ALPS処理水海洋放出の問題と今後の対応」

講師～穴戸 義広氏（みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部長）

【講演要旨】

1. 2015年に政府・東京電力・地元漁業者は、福島第一原発事故で生じた汚染水については「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」と文書で約束
2. 2021年4月13日、菅総理は関係閣僚会議を開催し、2015年の約束を反故にし、福島第一原発事故で生じた汚染水（ALPS処理水）の海洋放出方針を決定、およそ2年後と計画
3. その後、みやぎ生協・コープふくしま、福島県生協連、宮城県生協連、宮城県漁業協同組合の4者が呼び掛け団体となり、海洋放出反対のオンラインを含む署名活動を開始
4. 2021年にオンライン学習会を企画・開催、生協コープおおいたは3回開催し、県内外生協がオンラインで参加
5. 2022年3月30日、17万9,093筆の署名を東京電力と経済産業省に提出し、第一次要請行動と意見交換を実施、2022年10月31日現在、署名は22万4,391筆集約
6. アルプス（ALPS）処理水の問題と今後の対応
別紙参照

ギモン？ 不安 これでもいいの？

がいっぱいある

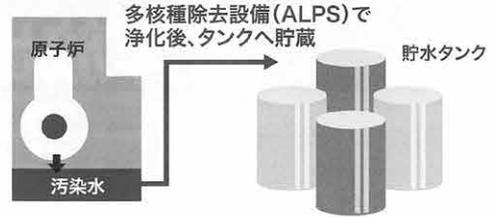
アルプス(ALPS)処理水 海洋放出問題



本当にこのまま流してしまってもいいの？

1. そもそも「ALPS処理水」ってなあに？

原発事故で発生した汚染水を多核種除去設備（ALPS）で処理した水の内、「トリチウム以外の核種について環境放出の際の規制基準を満たす水」のみをいいます。



■約7割のタンクの水はALPS処理水とは言えない。

■通常原発から排出されるものとは違う。

通常原発の排水には含まれない「57種類」もの核種が含まれています。

基準超えの処理水が約7割

トリチウム以外の放射性核種が規制基準を超えて存在しています。

なぜ、浄化しても規制基準を超えるトリチウム以外の核種が存在しているの？



通常原発の排水



福島第一原発の排水



再浄化して、本当に処分前に基準値以下にできるの？

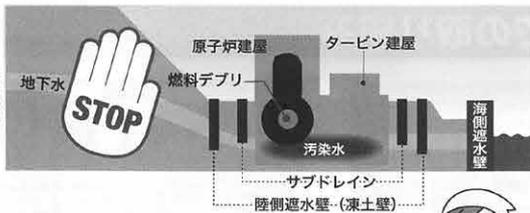


2. 政府の汚染水対策の「3つの基本」に照らし合わせると…

3つの基本とは？

- ①「汚染源に水を近づけない」
- ②「汚染源を取り除く」
- ③「汚染水を漏らさない」

汚染源に水を近づけない



止水対策が最優先すべき課題ではないの？



汚染水を漏らさない



海洋放出 ≡ 汚染水を漏らす？

漏らさないことと海に流すことには矛盾はないの？



3. 現在の廃炉ロードマップは、廃炉の絵姿も示せていない！

福島第一原発の廃炉は 2051年って本当？

燃料デブリ取り出しの見通しも立たず、廃炉の最終状態も示せない中で、なぜ海洋放出を急ぐ必要があるの？

- 事故を起こしていない福島第二原発の ▶ 廃炉完了予定 2064年

- スリーマイル島原発は 1979年 事故 ▶ 廃炉完了予定 2053年



もっと学んで、知って、みんなで考えないと…



廃炉は簡単ではないよね…

気軽にみんなで学んでみませんか？

この問題を『ほぼ10分でわかる』動画にしました。

こちらをどうぞ

<https://vimeo.com/745298141>



携帯はこちらから

県生協連主催 第33回スポーツ交流会(ボウリング大会)を開催

県生協連は、会員生協間の交流を深めることを目的にスポーツ交流会を毎年開催していますが、2017年度よりそれまでのミニバレーボール大会から、誰でも参加できる競技としてボウリング大会に変更しました。

参加者や会員生協から好評であり、2022年度も第33回スポーツ交流会はボウリング大会を継続することとし、2022年11月19日(土)に大分市明野 OBS ボウルでコロナ感染対策を講じながら人数を若干縮小して開催、11会員生協から64名が参加しました。

受付で全員に飲物と参加賞を配布し、河原県連専務理事の開会あいさつ、始球式の後、競技を開始しました。

競技は一人2ゲーム合計点の個人戦で行い、優勝は生協コープおおいたの朝倉国雄さんが初優勝し、2位は生協コープおおいたの藤井涼さん、3位は生協コープおおいたの古田和也さん、4位は学校生協の工藤安司さん、5位は生協コープおおいたの朝倉一彰さん、10位以下は5飛び賞とブービー賞、特別賞(33位)で18人が入賞しました。

表彰式は、司会の萩原組織委員(県連監事)より入賞者が発表され、今年は各生協の代表以外も多く参加し、会場は久しぶりに盛り上がりました。

参加者からは「コロナ禍の中で楽しく交流させてもらいました、来年も是非開催してほしい」との声をいただきました。



表彰式何位かな～



ストライクポーズ



表彰式

県生協連と県行政との懇談会

県生協連と県行政との懇談会が、2023年1月26日(木)大分市のアートホテル大分で開催され、新型コロナウイルス感染対策を十分行いながら、県消費生活・男女共同参画プラザの河野雅弘所長、大石真義総括補佐、首藤英樹主幹の3名が出席し、県生協連は青木博範会長理事をはじめ13名の理事・監事・職員が参加しました。

この懇談会は、県生協連が県へ次年度の予算要望書を提出し、県の回答書を受けた後、生協と行政の相互理解と連携を強めるための意見交換の場として毎年開催しています。

【令和5年度県予算要望事項と回答の概要】

1. 新型コロナウイルス感染症及び被害に対する支援

- ①医療機関や福祉施設への財政支援等の継続・強化を全国知事会を通じて政府へ要請するとともに、県独自の補助金も実施しており、継続する。
- ②物価高騰等の対策は地方創生臨時交付金を活用していく。
- ③検査キットの無料配布や必要な食糧支援等を実施している。
- ④保健所の機能強化を実施中であり、引き続き努力していく。
- ⑤感染者や家族への差別対策や風評被害対策に取り組んでいる。
- ⑥コロナ関連の消費者被害防止に向け広報や啓発を実施している。

2. 消費者行政の充実・強化

- ①消費者行政予算の確保に向け努力していく。
- ②第4次大分県消費者基本計画に沿って実施する。
- ③消費生活相談員の確保と資質の向上のため、養成講座や研修事業の実施、処遇改善に向けて会計制度任用職員制度の趣旨を踏まえ市町村へ働きかけていく。
- ④成年年齢の引き下げによる消費者被害防止に向け、今年から3年間で県内全高校へ出前講座を実施している。
- ⑤プラスチック資源循環促進法に基づき具体的に取り組むとともに、不法投棄の防止に引き続き取り組む。
- ⑥大分県消費者問題ネットワークへは法令周知の普及・啓発、研修事業の委託を継続し連携して取り組む。

3. 食の安全・安心、食品ロス削減の推進

- ①第5次県食品安全行動計画に基づき推進する。
- ②全事業者がHACCPを導入できるよう支援する。
- ③学校での食の安全や食育、エシカル消費を推進していく。
- ④県の食品ロス削減推進内容の啓発に取り組む。
- ⑤県内食料自給率向上に向け、地産地消等に取り組む。
- ⑥種子法に代わる県の要綱等を整備し体制を維持する。

4. 生活協同組合の育成・強化

消費者行政として生協を消費者団体の中核と位置付け、消費者教育推進、消費者被害防止の具体的取り組みを連携しており、今後も連携を深めていきたい。

5. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策

県防災会議や災害対策ネットワーク会議等で取り組み、県民安全安心メールや防災アプリ等の活用を推進する。また、学校現場での防災教育の充実に向け取り組んでいる。

6. 物価高騰対策、生活困窮世帯・子育て支援、医療費助成制度の拡充

- ① 昨年全国知事会を通じて政府に要望し、総額39兆円の物価高克服・経済再生実現の総合経済対策が成立しており、それを活用していく。
- ② 生活困窮者への支援は政府に要望、県の支援計画や市町村との連携で取り組む。
- ③ 子ども食堂への支援は知事会を通じて政府に要望、県独自で新規開設の団体等へ市町村と連携して助成している。
- ④ 給付型奨学金や就学・学習制度の拡充を全国知事会を通じて政府へ要請する。
高校授業料は支援金の活用で所得に応じて無償化や減免している。
- ⑤ 多世代で交流できる居場所づくりへの助成金は、令和2年度より立ち上げや拠点整備等に対し支援を実施中である。空き家の利活用は、国が市町村へ「空き家対策総合支援事業」があり、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用し、空き家の回収やイベントの開催が可能である。
- ⑥ 子ども医療費助成は政府に要望、県内16市町村が県の助成の上乗せで中学生まで通院医療費を助成している。大分市と別府市は住民税非課税世帯を対象に助成している。

7. 地域医療及び医療供給体制の確保

- ① 地域医療体制確保に向け、地域枠医師キャリア形成プログラムを大分大学と連携して策定するとともに、医師の確保・定着に取り組む。
- ② 看護・介護職員の処遇改善に向け、政府に要望するとともに、看護職員の宿舎の整備への支援、介護職員への処遇改善に取り組む。

生活協同組合コープおおいた

「みんなのスペース ぽっかぽっか」隔週日曜日の午後オープン

コープ別府店2階に誰でもふらっと立ち寄れる居場所、「みんなのスペース ぽっかぽっか」がオープンしました。忙しい日々を過ごす子どもたちにホッとできる場をつくり、世代を超えた交流により地域のつながりを深めることを目的に、コープおおいたと地域のボランティアが運営しています。

おひとりでも、お友達といっしょでも、年齢も国籍も関係なく、どなたでもお気軽に「ぽっかぽっか」をご利用できます。



米国大豆・小麦生産者 ボブさん(SB & B社)オンライン交流会

10月22日(土)
参加者: 13組 (総勢18名)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生産者との交流ができない中、アメリカの生産者と組合員をつなぐ「米国大豆・小麦生産者ボブさん(SB & B社)オンライン交流会」を、時差がある中、開催しました。ボブさんは、とうふや食パンなどお馴染みのコープ商品の大豆や小麦の生産者です。

交流会ではアメリカの膨大な畑の動画や、パンのおいしい焼き方の動画の視聴、通訳を交えながら質問や交流を行いました。参加した組合員からは「アメリカのボブさんとライブで交流できるなんて、すごいです!」「生産者の顔の見える商品を購入できることがうれしいです。」と声をいただき、オンラインで国境を越えて楽しく交流することができました。



郷土料理でオンライン旅行～長野県編～ 10月23日(日)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、遠くへの移動が難しい中、生活協同組合コープながのさんにご協力いただき、オンラインで長野県のお国自慢、郷土料理のご紹介をしていただき、交流を行いました。

大分県から長野県への道のりから始まり、長野県についての説明の後、コープながのさんの組合員活動をご紹介いただきました。実際に現地に行った気分を味わうことができ、クイズなどで楽しく交流しながら長野県のことを学びました。

その後、長野県の郷土料理である「キムタクごはん」と「天寄せ」を実際に作り、食への関心を高め、より長野県を身近に感じていただきました。参加者の方からは、「楽しかったです!気分転換になりました」や「長野県のことよく分かり、キムタクごはんが大分の給食にも出てると知り、嬉しくなりました」など嬉しい声をいただきました。



国東市との地域包括連携協定を締結 1月13日(金)

国東市と16例目となる包括的連携に関する協定を締結しました。三河 明史 国東市長より、「災害時に支援を受けられることを大変嬉しく感じている。これからよろしくお願いします」とご挨拶いただきました。

コープおおいた青木博範理事長は、「災害時の支援を円滑にするためにも平時からの情報交換を行い、国東市の地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

■国東市と生活協同組合コープおおいたとの地域包括連携協定締結項目

- 1) 災害支援に関する事
- 2) 地域の見守りに関する事
- 3) 高齢者支援や子育て支援に関する事
- 4) 地場産品の販路拡大に関する事
- 5) 観光復興に関する事
- 6) 買い物支援に関する事
- 7) その他地域住民サービスの向上及び地域社会の活性化に関する事

今後もコープおおいたは、地域社会の一員としての役割と責任を果たすため、多様化する暮らしに対応する事業展開とともに、行政や自治体、各分野関係団体と連携して大分県の発展に寄与してまいります。



TOPICS

日田市民生活協同組合

主な活動紹介



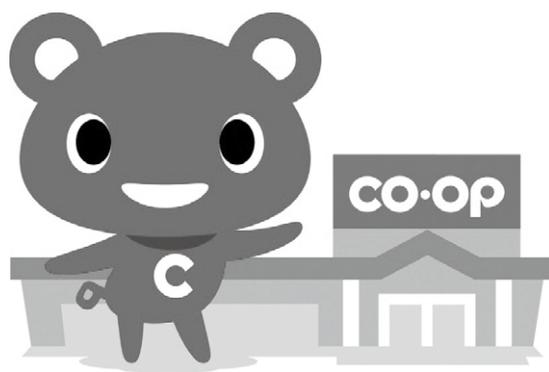
お買物無料送迎サービス

日々の買い物にご不便を感じている組合員さんに対して2020年8月に開始した生協店舗への無料送迎サービスですが、現在2拠点、約80名の登録者に対して、週5日・毎日5便の運行を行っています。少子高齢化などの影響もあり利用者は増加傾向にあります。

たすけあい共済

2003年7月より取り扱いを開始いたしました「たすけあい共済」の保有件数も今年度5,460件を突破し、当初目指していた組合員加入率30%によいよ近づいてまいりました。

2年前からのコロナ禍にあって推進活動の制約はございますが目標数値の達成と共に、今年度は新型コロナによるご請求も増加し、“給付のための共済”組合員の困った時のお役立ちの意味を実感しております。



環境保全マイバッグ持参運動

1991年より取り組みを開始した『マイバック運動』ですが、多くの組合員の皆様のご理解とご協力により、昨年2022年は年間を通じ89%を達成いたしました。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

2022年度グリーングリーン交流会開催！～メーカーと組合員が対面で交流～

2022年度のグリーングリーン交流会は、ホルトホールにてハイブリッドで開催しました。参加者数は124人、その内オンラインが23人でした。

馴染みのある商品を入りに理事会でメーカーを選定しましたが、初めてお会いするメーカーも多くワクワクして臨みました。アピールに沿った試食や試供もあり、それぞれの商品特長を分かりやすく熱弁され理解が深まりました。

メーカーからは「久しぶりの対面で緊張したが、組合員の顔を見て反応を感じながらお話しできたことが嬉しかった」「商品を愛用していることを聞いて心が躍った」「美味しいと言ってもらい自信につながった」「おおいたはパワーが凄い」などの感想を寄せていただきました。

組合員の報告書には「こだわりの商品特長を聞いて感動した」「美味しい新商品をぜひ利用したい」「勉強になった。組合員に伝えたい」「工場に行ってみたい」「共同購入の現場で活かす語り口を得た」「メーカーをお店によび一緒に利用普及を頑張りたい」「直接会って話しができて楽しかった」などがあげられ、有意義な交流会となりました。



朝食支援事業状況報告 ～子どもが落ち着き、登校が楽しみに～

グリーンコープ生協おおいたは2021年度より大分県から委託を受け、朝食支援事業を行っています。2022年度の支援校11校の朝食支援の現場に理事のみなさんが伺い、担当者の方々から子どもたちの様子をお聞きました。

朝食支援事業は、食材は一般社団法人グリーンコープこども基金よりフードサポートの支援を受け大分県に無償提供し、食材の配送をグリーンコープ生協おおいたが担っています。

各学校は担任や養護教諭が担うところもあれば、地域の子ども食堂やお寺が担うところもあり校内や子ども食堂で、週1回から5回子どもたちに朝食を提供しています。

2022年度は、中津市・佐伯市・豊後大野市・別府市の小学校・中学校計11校で朝食支援を実施しました。中津



市では子育て支援課の学校長経験者が、朝食が取れていない子どもたちへの対応として大分県が進める朝食支援に関心を持ち、個別学校に相談した経過があります。実施校では教職員が校内で対応しています。

先生方から「エネルギー切れになると集中力が低下し、ケンカが起こる。支援はありがたい」「支援いただいた商品をストックし、毎日食べている」「学校に来れば食べるものがあると、支援は児童の楽しみにもなっている」「朝食を食べるようになって、これまでの態度が落ち着き180度変わった」との話をお聞きました。同時に、「教員不足」「本当に支援が必要なところに届いているか」など今後の課題もお聞きました。



大分県学校生活協同組合

退職を見通したライフプランセミナー

毎年好評の「退職を見通したライフプランセミナー」を2022年12月10日(土)に大分県教育会館で開催いたしました。新型コロナウイルス感染防止を鑑み感染対策を催しました。

始めに高校生協の専務理事、続いて主催者を代表して教職員共済大分県事業所所長の挨拶で開会し、セミナー1では「教職員の働き方(暮らし方)と社会保険」と題して、講師の教職員共済エリア担当アドバイザーの岡本和子さんより、公的年金制度、医療、年金定期便をもとに退職後の働き方などの内容で、大分県の教職員の状況を踏まえた具体的資料をもとにわかりやすい講演が行われました。

続いて指定店・日本トリムさんが健康促進の一助として商品案内を行った後、セミナー2では「人生100年時代におけるリフォームとは?」と題し、住友林業ホームテック株式会社大分営業所長さんよりリフォームの目安・費用など講演をいただきました。

続いて、教職員共済大分事業所より火事・自然災害への備えとして「火災共済・自然災害共済」の案内がありました。

会場には、指定店ブースを設け、組合員さんへ商品やサービス等も紹介されました。

最後に学校生協の高瀬専務理事より閉会の挨拶があり盛会のうちに終了しました。

2月の教職員共済・個別相談会にも申込みがあり、退職後のライフプランへの関心の強さが伺われました。

参加者の声も好評で、次年度も期待されるイベントとなったと思います。



参加者の声

- ・退職後の不安や友人の誘いで参加しました
- ・どの講演も丁寧な説明でわかりやすかった
- ・今後の働き方の参考になりました など



第4回商品委員会

「第4回商品委員会」を2023年1月6日(金)に大分県教育会館で開催いたしました。

各支部の商品委員さんに「春の生協強化月間」の商品を紹介し、オリジナルチラシ(県版)等も確認しました。

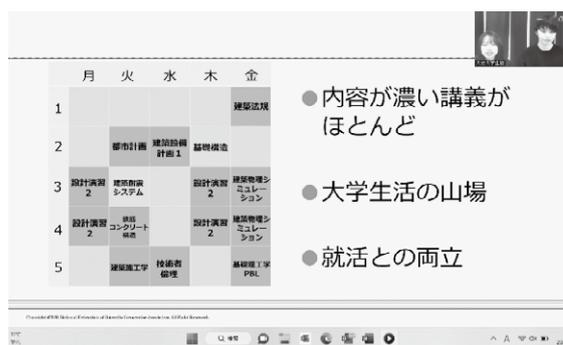
後日、商品委員さんが各支部に持ち帰り、組合員さんに利用のお願いをしました。

大分大学生生活協同組合

大分大学生協では新入生の入学準備をお手伝いするために様々な取り組みを行っています。

合格翌日説明会

今年より新たに合格発表翌日にオンラインにて説明会を開催しています。一人暮らしのお部屋探しや、大学入学準備についてなど現役の大分大学生が説明しています。参加者からも「大学の講義はどういったものですか?」、「レポートは大変ですか」など質問されるなど新入生の不安や悩みを少しでも解消しようと取り組んでいます。



【オンライン説明会の様子】

前期入試時の取り組み

前期入試の前日・当日にはお部屋見学会と合格前予約の受付を行っています。こちらもコロナ感染防止のため大学への入構制限がされているため、大学外にある旦野原ハイツ公民館をお借りし実施しました。前日・当日合わせて約90名の新入生・保護者の方が訪れ、お部屋の見学や合格前予約をされています。



【公民館で合格前予約受付】

サポートセンターでの入学準備サポート

前期入試合格発表後の3月8日～3月末には食堂にて新入生サポートセンターを開設し、個別に大学入学準備をサポートしています。サポートセンターで接客するのは現役の大分大学生スタッフ。実際に大分大学で過ごしている自身の経験をもとに新入生や保護者にアドバイスをしながら新生活に向けてのお手伝いをしています。



【サポートセンター学生スタッフ】

大分県職員消費生活協同組合

「合格祈願米・諸願成就米」限定販売

1月から「合格祈願米」の予約販売を始めました。4年目の取り組みです。国東市の文殊仙寺で祈願した祈願米は国東市内の生産者が減農薬・有機肥料で特別に栽培した「つや姫」です。300g（約2合）入りで1,000円（税込）。

無病息災や商売繁盛などの「諸願成就米」も販売中。価格は同一です。



ご利益が逃げないように丈夫な七島藁でしっかり結んでいます

自治労会館落成記念生協フェア開催

新自治労会館が完成し、10月17日、18日開店セール（お弁当、お菓子など）を開催しました。また、12月20日、21日は自治労会館落成記念生協フェアを指定店とともに開催しました。国東のミカン、玖珠町の「かいぞくかりんとう」、農業大学校の野菜など地域産品を取り揃えて大好評でした。



2022, 12, 20自治労会館生協フェア

大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

下記の分譲地にて建築条件付宅地を販売中です。

詳細はフリーダイヤルまでお問い合わせください。

◇別府市「新別府」(分譲地3区画・分譲住宅1戸)

◇大分市津守(分譲住宅1戸) ◇大分市小佐井(分譲地1区画)

◇大分市横尾(分譲地9区画) ◇大分市荏隈(分譲地2区画)

【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なリフォームを扱っています。組合員様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生協住宅事業部 0120-557-887

旅行センターについて

旅行センターは「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿った旅行手配をおこなうことで、組合員の皆様へ安全、安心な旅行サービスの提供に努めております。ご旅行や組合行事などをご検討の際は、お気軽にご相談下さい。

【新規団体旅行紹介キャンペーン】

対象団体：旅行センターに新規でお申し込みの団体旅行

※過去にお取り扱いのない団体旅行となります。

対象期間：2023年3月1日～2023年11月30日までに出発の団体

対象条件：15名様以上で1泊以上の国内・海外団体旅行

(貸切バス・航空機・JRなど交通機関のついた団体旅行)

プレゼント：15名様以上のご紹介の場合

紹介者様、旅行幹事様それぞれに5,000円のギフト券をプレゼント

※15名様ごとにそれぞれ5,000円のギフト券を追加で進呈します。

(例)35名様の場合 紹介者様、旅行幹事様へ各10,000円のギフト券

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

・昼間(8時～18時)40分100円 昼間最大800円

・夜間(18時～8時)60分100円 夜間最大500円

【お得なプリペイドカード】

・10,000円券を8,000円で販売 ・5,000円券を4,500円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。

ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。

大分市中心市街地



大分県勤労者医療生活協同組合

CTスキャナが新しくなりました

12月某日、大分協和病院にマルチスライス CT スキャナが搬入されました。巨大な装置になぜか胸躍ります。

マルチスライス CT スキャナは、開口径が780mmで圧迫感がなく、患者様が寝台に横になるだけで頭部や胸部、腹部の断層像が鮮明に撮れます。検査はとても簡単で短時間ながら広範囲の撮影が行えます。

10年前に導入した CT も当時は最先端の性能でしたが、日進月歩、10年も経つと性能は大きく変わります。新しい CT により高画質の映像でいままで以上に適切な診断が可能になりました。



2022年10月～11月の期間で行った健康チャレンジ行事の参加者の声です。健康チャレンジは健康のための取り組みを設定して、期間中にその取り組みを達成できた回数が30回を超えることを目指す行事でした。



取組み 歯磨きをする

感想

寝る前の歯みがきだと、する前に寝てしまうこともあったので、お風呂に入る前に行うようにしました。これからも歯みがきを忘れずして、虫歯のない歯を保ちたいと思います。



取組み しっかり野菜を食べる、十分な睡眠

感想 食生活を見直しました。



1日の活動の中で、ふとした時に「そうだ〇〇しないと健康チャレンジの目標達成できないな」なんて思うことで、日常生活の中で少しでも健康に意識を向けることが出来たのではないのでしょうか。

大分県医療生活協同組合

コロナ禍でも安心して継続できる健康づくりを ～スクエアステップ教室開催箇所を拡大

感染を避けるための外出機会の減少は高齢者にとって認知機能、身体機能の低下を招きます。医療生協の健康づくりの魅力である班会の開催も長引くコロナ自粛で大きな影響を受けています。そこで広い空間で取り組み、また、会話もあまり必要なく、脳トレ、下肢機能強化にもつながるスクエアステップの普及を目的に22年9月に2回目となる指導員養成講座を開催。新たに17名の指導員が誕生しました。新任講師が中心になり10月～11月に新たに10カ所でスクエアステップ教室をスタートさせることができました。



4カ所目の子ども食堂の開設とフードパントリーを開始



☆子ども食堂☆

22年11月に大分県医療生協で4カ所目となる『ひまわり子ども食堂』を開設しました。当日は子どもたちを中心に約100名が来場。現在も毎月第1土曜日の午前中に定期開催しています。また、この食堂は大分市東大分小学校すぐそばに立地しており、今後は小学生向けの子ども無料塾の開催も計画しています。

☆フードパントリー☆

22年秋に子ども食堂の取り組みに賛同する有志企業・個人の方々から合計2トンを超えるお米の寄付が寄せられました。子ども食堂だけでは活用しきれないことからフードパントリー（食材の無償提供）を12月に2カ所で開催。合計115名の方に利用して頂きました。その後もお米の寄付を頂いたことから、実施場所を増やして開催する計画です。

2022年度第4回理事会議事録

1. 日時 2022年11月16日(水) 13時30分～14時40分
2. 会場 大分市中央町 ソレイユ7階会議室
3. 出席者 理事総数13名中12出席、監事総数2名中全員出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

(1) 県生協連活動報告

- 9月14日 第30回県議会議員との懇談会
9月21日 日生協2022年度県連活動交流会
10月5日 日生協・九州地連第2回運営委員会
10月7日 第2回県消費者団体連絡協議会
10月12日 県消費者問題ネットワーク第4回理事会
10月18日 日田市民生協第2回理事会(傍聴)
10月19日 令和5年度大分県予算要望書の提出
10月30日 県労福協「2022福祉研修会」
11月1日 県消費者問題ネットワーク第5回理事会
11月2日 県労福協第4回理事会

- 11月5日 地球温暖化対策おおいた市民会議講座
11月7日 地球温暖化対策おおいた市民会議
普及啓発部会
11月8日 日田市民生協酒井理事長の逝去と対策
11月9日 生協コープおおいた創立70周年
記念式典・祝賀会
11月11日 第28回九州ブロック生協・行政合同会議
11月12日 日田市民生協理事学習会

<審議事項>

- (1) 2022年度大分県行政との懇談会の開催について
(2) 2022年度地域消費者フォーラムへの参加について

2022年度第5回理事会議事録

1. 日時 2023年1月26日(木) 14時30分～15時50分
2. 会場 大分市都町 アートホテル大分2階会議室
3. 出席者 理事総数13名中全員出席、監事総数2名中全員出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

(1) 県生協連活動報告 2022年

- 11月16日 第27回大分県生協大会(役職員研修会)
11月17日 日生協九州地連大規模災害対策連
絡会(オンライン)
11月19日 県生協連第33回スポーツ交流会(ボ
ウリング大会)
11月30日 日生協九州地連第3回運営委員会・
活動推進会議(オンライン)
12月1日 県労福協情報誌168号編集会議
12月2日 県生協連第3回組織委員会
12月10日 県労福協2022リーダー育成研修

- 12月12日 県生協連の定款に基づく事業と果たす
役割に関するアンケート
12月13日 県消費者問題ネットワーク第6回理事会
2023年
1月17日 日田市民生協第4回理事会(河原出席)
1月23日 令和4年度大分県消費者フォーラム
in 佐伯(中止)
1月25日 県労福協第5回理事会

<審議事項>

- (1) 県生協連2022年度決算見込みと下期会費について
(2) 県生協連の定款に基づく事業と果たす役割
について